



奈良県感染症発生動向調査還元情報（週報）

奈良県感染症情報センター Nara IDSC
（奈良県保健環境研究センター内）



● 今週の概要

- 今週の感染症情報
- 月報告対象感染症（性感染症・薬剤耐性菌感染症）発生状況（8 月月報） New
- 病原体（ウイルス）検出情報（8 月） New



（調査週）平成 24 年 第 36 週 9 月 3 日（月）～9 月 9 日（日）

奈良県および二次医療圏別発生状況（奈良県上位 5 疾患）（5 週前からの動向）

順位	疾患	定点当り	奈良県	北部	中部	南部
1	感染性胃腸炎	2.23	→～↑	↑	→	→～↓
2	突発性発しん	0.37	→～↑	↑	→～↓	↑↑
2	ヘルパンギーナ	0.37	↓	→～↓	↓	↓
4	RS ウイルス感染症	0.29	↑	↑↑	→～↓	→
4	A 群溶連菌咽頭炎	0.29	→	↑	↓	→～↑

全県の動きと目立って異なる推移（定点当りの変化程度で実数ではない）を太い矢印で示す。

県北部地区概況 報告数は90例で、前週報告の56例から増加。上位5疾患は、①感染性胃腸炎、②ヘルパンギーナ、③RSウイルス感染症、④A群溶連菌咽頭炎＝突発性発しんの順。感染性胃腸炎の報告数（37例）は、増加。ヘルパンギーナの報告数（10例）は、やや増加。RSウイルス感染症の報告数（7例）も、やや増加。A群溶連菌咽頭炎の報告数（6例）も、やや増加。突発性発しんの報告数（6例）も、やや増加。奈良市HCおよび郡山HC両管内眼科定点からの報告はなかったが、両管内基幹定点から、マイコプラズマ肺炎が各々順に1例、2例の計3例報告された。

（村井 記）

県北部外来状況 外来患者数は少ない。高熱、頭痛などのいわゆる夏風邪はほぼ消失、嘔吐と下痢が1日程度あるかぜ？が一部の保育園で流行している。中国旅行帰りの中学生と大学生でインフルエンザ（AH3N2）が2週続けて検出された。当院の従業員にも感染しさらにその家族にも感染した。イナビルもタミフルも効果を見とめた。マイコプラズマ肺炎がポツポツ程度の頻度で見られる。マクロライド系抗生剤はあまり解熱効果がない模様である。
(矢追 記)

県中部地区概況 報告数は、92例から63例と減少した。上位5疾患は、感染性胃腸炎、咽頭結膜熱、突発性発疹、RSウイルス感染症・水痘・ヘルパンギーナの順であった。感染性胃腸炎は、36例から39例と横ばいであり、咽頭結膜熱は10例から6例と減少傾向である。眼科定点からは、流行性角結膜炎1例の報告が、桜井保健所よりあった。基幹定点からの報告はなかった。
(高木 記)

県中部外来状況 外来数は、気候の変化、二学期の集団生活開始とともに増加。軽度の感冒程度であったが、次第に高熱、アデノ様の夏風邪様の例も出てきた。夏にいわゆる夏風邪罹患を免れた例に見られる傾向？尚、アデノ迅速検査は陽性に出にくい印象。感染性胃腸炎もあり、細菌性と思われる家族例もあった。流行性耳下腺炎がやや増加中。マイコプラズマ様の気管支炎例、伝染性紅斑、ヘルパンギーナ、非典型手足口病、などがほぼ1例ずつあった。
(岡本 記)

県南部地区概況 報告数（第35週→第36週）は10例→12例と推移。報告のあった疾患は、①A群溶連菌咽頭炎（7例→3例）、①突発性発疹（1例→3例）、③感染性胃腸炎（2例→2例）、③水痘（0例→2例）、⑤手足口病（0例→1例）、⑤マイコプラズマ肺炎【基幹定点】（0例→1例）であった。
(柳生 記)

県南部外来状況 朝晩涼しくなり外来数は少し増加したが、キャンピロバクターなどの感染性胃腸炎と溶連菌咽頭炎、突発性発疹症が少しあっただけで、その他の登録感染症は見られなかった。アデノウイルス感染症の家族例で、従兄弟から感染した先行の子供たちは順に2, 3日の38度台の発熱があっただけのみで、最後に感染した母親になって扁桃の著明な白苔と5日間の高熱の持続が見られた。
(山本 記)

【月報告対象感染症（性感染症・薬剤耐性菌感染症）発生状況（8月月報）】

平成24年8月に、奈良県内の定点医療機関より保健所に届出のあった月報告対象感染症の報告数は以下の通りです。

・STD患者数（人）

疾患名\報告月	8月		前月（7月）	
	報告数	定点当たり報告数	報告数	定点当たり報告数
性器クラミジア感染症	10	1.11	7	0.78
性器ヘルペスウイルス感染症	2	0.22	2	0.22
尖圭コンジローマ	1	0.11	2	0.22
淋菌感染症	4	0.44	8	0.89

・薬剤耐性菌感染症患者数（人）

疾患名\報告月	8月		前月（7月）	
	報告数	定点当たり報告数	報告数	定点当たり報告数
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	20	3.33	31	5.17
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	6	1.00	11	1.83
薬剤耐性緑膿菌感染症	2	0.33	1	0.17
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0

（感染症情報センター 記）



【病原体（ウイルス）検出情報（平成 24 年 8 月）】

病原体定点医療機関から保健環境研究センターウイルスチームに搬入された検体の、8月におけるウイルス検出状況は以下の通りです。

患者数（平成 24 年 8 月検出分）

検出病原体		北和	中和	南和	臨床診断名
ロタ	A		4	1	感染性胃腸炎(5)
アデノ	2		1		扁桃炎(1)
エコー	7		2		扁桃炎(1)、胃腸炎(1)
エコー	9	1			手足口病(1)
コクサッキーA群	2	1	2		ヘルパンギーナ(2)、扁桃炎(1)
コクサッキーA群	4		2		ヘルパンギーナ(1)、O18(1)
コクサッキーA群	5	1			ヘルパンギーナ(1)
コクサッキーA群	8		2		ヘルパンギーナ(2)
コクサッキーA群	9	1			発疹症(1)
ライノ				1	上気道炎(1)

（保健環境研究センター 記）

感染症情報センターホームページアドレス

http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-27874.htm